

参加者の活動紹介1（株式会社 日進製作所 代表取締役 会長 錦織 隆 様）

株式会社日進製作所は1946年に工業用ミシンの部品生産で創業しオートバイ部品、自動車部品の製造に加え、これらの部品生産に必要な生産設備作りを行ってまいりました。舞鶴工業高等専門学校の卒業生が多数 設計、開発に携わって成果をだしています。

今後も舞鶴工業高等専門学校とは協同で技術開発をしていきたいと考えています。

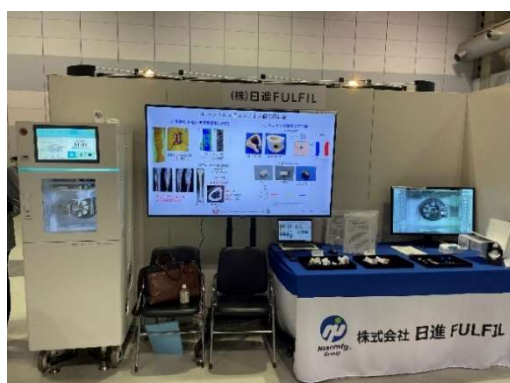
これまで培ってきたKnow Howをもとに

★生産現場の製造設備を効率よく稼働させるためのシステム

「サガネ係長のSMART FACTORY」の開発、販売を行っています。



弊社内の実際の現場の係長である「サガネ係長」がかかわって作り上げたものです。SCADAパッケージソフト「サガネ係長のIoT」、「品質トレサビシステム」、「自動化関連装置」の導入サービスを軸に私たちが培ってきたスマートファクトリー運用のノウハウをプラスした運用サポートを通し世界に誇る日本の製造業の競争力を、これからも維持・向上することに貢献していきます。



★グループ会社である 株式会社日進FULFILのMedical事業部門では**骨加工装置**の製品化開発を行っています。骨折時の治療の多くは金属製ボルトにより固定しますが、脛などから採取した自家骨でネジを製作し、そのネジを用いた場合は治療期間の短縮や異物反応問題といった問題の解決が期待できます。共同研究を行っている大学で臨床試験が進められ、良好な治療結果を得ています。また、開



発中の本装置を整形外科学会に展示し、臨床症例と装置の可能性について医師の関心を集めました。

今後は、医療機器上市に向け、行政機関における必要な認証取得と開発を加速し、世の中の医療技術の向上の一翼を担うべく、早期の医療機器の事業化を目指していきます。

参加者の活動紹介 2 (日東精工株式会社 代表取締役社長 兼 COO 荒賀 誠様)

私たちは綾部に拠点を置く、今年で創業85年目となる金属製品や省力機器の製造販売を行う会社です。当社の主力製品に液体用流量計があり、船舶用流量計の製造販売も行っております。船の中のメインエンジンの燃料消費量（重油）の計測や、発電機の燃料計測、エンジンシリンダーオイルの計測などに使用されています。造船、海運業界においてもカーボンニュートラル化の動きが加速しており、エンジンの燃料が従来の重油から、MGO（マリンガスオイル）やLNGに切り替わりつつあります。今後さらにCO₂排出削減のために燃料をアンモニアや水素へ切り替えるための検討が進んでいます。

当社は長年にわたり船舶用流量計の製造販売を行っており、おかげさまで多くのお客様にご採用いただいています。今後も当社の社是である「社会に対する感謝の気持ち」を持って技術開発に取り組み、海が、そして地球が、持続可能となるカーボンニュートラルの活動に参画し、社会から信頼され続ける企業を目指してまいります。



ロータリ流量計



スーパーロータリ流量計



質量流量計クリーンフロー

船に使用される主な当社の液体用流量計製品

活動報告～マリンITワークショップ 2023 びわこに参加して～(舞鶴高専 小林 洋平)



マリンITワークショップ（春）は2012年にスタートした水産と情報技術の融合を目指した研究集会である。12回目の今年は、滋賀県琵琶湖の大津港に停泊するびわ湖最大のチャーター船であるビアンカ号の船上で研究集会が開催された。

産業界と官としての自治体や研究機関、また、高専、大学等がまさに産官学という形で協力して開催しているワークショップという印象を持った。滋賀県の担当者も10名に達しようかという人数で参加しており、この規模のワークショップで県の職員がこれほどの人数参加している例を他に知らない。豪華客船での開催、ランチクルーズ、懇親会でも琵琶湖の特産品をあしらった贅沢な料理など自治体の力の入れようを窺える。それだけ本ワークショップを滋賀県が重要視しているということなのだろう。なお、研究発表の詳細については、会議の概要とプログラムを参照されたい。

<https://beluga.jp/workshop/spring/2023biwako/>

